

2018 JUA/EAU Academic Exchange Programme 参加報告

出 嶋 卓 (九州大)

今回 JUA/EAU Academic Exchange Programme にご選出いただき、藤田保健衛生大学の高原先生、台湾からの3名の先生と一緒に2018年3月10日から20日まで、2つの施設見学、第33回 Annual EAU Congress (EAU18) を含む European Tour に参加させていただきましたので、ご報告を申し上げます。

まず初めにドイツのハンブルグにある Martini Klinik を訪問させていただきました。初日は日曜でもあることより、病院見学に先立って Martini Klinik の先生方に企画していただきましたハンブルグ観光があり、Hamburg Dungeonなどを観光しました。夜も Martini Klinik のスタッフ、Prof. D. Tilki と食事を共にさせていただき、ドイツ・日本・台湾の文化や病院の違いなどを話すことができ、楽しい雰囲気です。Tour が始まりました。料理はというとピザがとても大きく、自分では半分食べるのがやっとでしたが、他のテーブルでは女性が一人1枚食べているのにはびっくりしました。

12日より見学させていただいた Martini Klinik は、前立腺癌の手術に特化しており、年間2,000例以上の前立腺全摘除術が行われていました(多くはRALP)。なぜこのような多くの症例が集めることができるのかということ、ほとんどの症例で両側神経温存が行われており、さらに神経血管束への腫瘍の浸潤を術中迅速で確認することによるものでした。病理の結果によっては追加切除をしていました。これらにより他の施設と比較して高い尿

禁制率・勃起機能の温存を実現しており、ドイツだけでなく世界中より患者が集まっているとのことでした。

Prof. Hartwig Huland からは Martini Klinik の歴史、前立腺癌手術における要点・解剖などの lecture を受けました。そのなかで術者10人間(200例ずつ手術)の尿禁制率、断端陽性率などを比較検討し feedback することにより、術者の技術向上を促す姿勢には感銘を受けました。さらに興味深いものは手術室と麻酔を行う部屋を別にするので、搬入・搬出の短縮を行うことでした。今回は2名の術者のRALPを見学させていただきました。前立腺が150gを超える症例もありましたが、流れるように手術が行われ、高い技術に裏打ちされた手術の重要性を再認識しました。

3月14日からはスウェーデンの Malmö にある Skane University Hospital を見学させていただきました。14日は主に Prof. A.S. Bjartell をはじめ多くの先生から Skane University Hospital での結石や各種癌の治療方針、Lund University での研究内容などの Lecture がありました。特にスウェーデンではセンター化がすすんでおり、Skane University Hospital には陰茎癌センターとして症例が集約されていることに驚きました。15日には、Live surgery があり、陰茎プロステシス移植手術を見学しました。私としては初めての症例で、さらに再手術症例でしたが、綺麗な視野での手術で大変勉強になりました。さらに Prof. Fredrik Liedberg からは SCC-like でも有名な Lund University が提唱している Bladder cancer subtype の lecture を受けることができました。

Prof. A.S. Bjartell には昼間だけでなく夕食に夜景のきれいなレストラン、雰囲気のよいレストランに誘っていただきました。スウェーデンはワインだけでなく、魚料



写真1 Martini Klinik



写真2 Martini Klinik スタッフとの懇親会



写真3 Prof. A.S. Bjartell (中央) とともに

理も多くとても美味しかったです。ただ、Malmöはデンマークに近いとはいえ北欧であり、自分にとってはかなり寒くて、レストランへの徒歩移動では、耳がとても赤くなりました。

コペンハーゲンで開催されました第33回 Annual EAU CongressではPlenary sessionを含めて多くのsessionに参加することができました。また会場では以前自分がバンクーバーに留学していた時に、同様に留学で来ていたドイツ、スイスの友人に偶然再会し、現在の状況を話す機会があり、多くの向上心が必要だと認識させられました。

学会期間中にはInternational Friendship dinnerに参加させていただきました。会場はCopenhagen City Hallで、ホテルより徒歩5分程度にもかかわらず、ホテルよ



写真4 Prof. Fredrik Liedberg (中央) とともに

り全員でバス移動するという不思議な経験でした。DinnerではChris Chapple先生とともに写真を撮ることができただけでなく、有名な先生方の前で名前入りの盾をいただくことができ、貴重な経験をすることができました。

このProgrammeで得られた貴重な経験は、自分だけでなく周囲にも伝えることで今後の医療に役立てたいと思います。

最後にこのような機会を与えていただきましたJUA、EAUの関係者の方々、私たちを快く迎えていただきましたMartini KlinikのProf. M. Graefen、Prof. D. Tilki、Lund UniversityのProf. A.S. Bjartellおよび各大学・病院のスタッフの方々に心から感謝いたします。